

中学校区におけるめざす子ども像 失敗を恐れずに自分で考えて決断できる子
--

堺市立	登美丘南小学校
校長	小松 豊

令和7年度 重点目標 子どもがつくる学校「みんなのとみなみ」 ・子どもが選ぶ・決める場面の創造 ・互いに尊重し、認め合い、助け合う学校
--

確かな学びの現状 確かな学び ○探究的な学びにおける課題設定研究をすすめる 年間を通じての研究授業の実施と日々の授業改善。 自己の学びを「選択する」「決める」場面の設定。	「豊かな心・健やかな体」の現状 ○子どもが主体的に学校を良くしていこうとする 子ども主体の特別活動「とみ活」の推進。 ○互いに尊重し、認め合い、助け合える仲間づくりの推進 学年ごとに年間を通したなかまづくりの取り組みの実施。 ○健康的な生活習慣の確立 年3回実施する生活調べを通して自身の生活習慣を見直す。
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	”こ だ わ れ る” 子 ど も	探究的な学びにおける研究をすすめる。	●年間を通じて、学年ごとに授業研究に取り組み、授業改善について学ぶ。	授業改善に向けて、ワークショップ型討議会を活用し、学んだことを実践する。校内研修の実施、外部講師を招待しての研修会の実施。	研究授業や研修会の実施	通年					
			●自己の学びを「選択する」「決める」学習場面を設定する。	自己決定に関するアンケートの肯定的で評価。	学校アンケート(児童用・教員用)	11月ごろ					
		子ども一人ひとりが自身の興味や課題に基づいた家庭学習をすすめる力の育成。	●年7回「マイチャレ週間」を設定し、家庭学習の内容を児童一人ひとりが決める。またマイチャレ交流会を実施し、友だちの学びを知ることで、自身の学びに対する「見方」「考え方」を広げる。	マイチャレに関するアンケートの肯定率で評価。	Formsアンケート	11月ごろ					
		児童用端末を学習に活用とスキルの拾得。	児童用端末活用系統表を用いて、学校全体で授業の中の活用機会を設定する。	学校アンケートの肯定的評価 80%以上がA、60%以上がB	学校アンケート(児童)	11月ごろ					
豊かな心・健やかな体	主 体 的 に 自 己 決 定 ・ 協 同 で き る 子	子どもが主体的に学校を良くしていこうとする。	●子ども主体の特別活動「とみ活」の推進。	とみ活での活動を振り返るアンケートを児童に実施。	生徒指導アンケート	毎学期					
		児童へのいじめ防止に関わる啓発活動と実態調査の実施。	道徳をはじめとする教科授業や特別活動の「集団活動」を通し、仲間づくりを進めると共に、生活アンケートでいじめの実態調査を行う。	・仲間づくりの実践報告 ・生活アンケート(年3回)での報告。	生活アンケート	毎学期					
		互いに尊重し、認め合い、助け合える仲間づくりの推進。	●学年ごとに仲間づくりの取り組みを進める。	仲間づくりに関する肯定的で評価。	人権アンケート	毎学期					
	体 や 心 に 関 心 を 持 つ 子	自己の生活習慣を見直し、改善する。	●自分の1週間の生活習慣を振り返り、課題を発見し、その課題を改善する週間を設定する。	学校アンケートの肯定的評価 80%以上がA、60%以上がB	学校アンケート(児童)	11月ごろ					
地域協働	信 頼 さ れ る 学 校	地域全体との連携を進め、地域協働による子どもの育成を図る。	自治会・PTA・子ども会と協働した取り組みを行うことで、地域との連携を深める。	学校アンケートの肯定的評価 80%以上がA、60%以上がB	学校アンケート(教職員用)	11月ごろ					
			学校通信、HP等で学校の教育活動について地域に公開する。	学校アンケートの肯定的評価 80%以上がA、60%以上がB	学校アンケート(教職員用) 学校通信、HPの記録	11月ごろ					
			★中学校区で「夏季研修会」「授業公開」を実施する。グランドデザインの作成、学校群の組織を編成し具体的な取り組みについて検討する。	本年度中にグランドデザインの作成と学校群の組織編制が完了する。	学校群の学校間で協議	年度末					

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------